

KiKiの広場

2013年 9月 1日

cafe NO.35
KiKi



「ヒストリア字部」と「cafe KiKi」が誕生して、今月25日で丸3年になります。昨年スタッフUちゃんに生まれたIくんも満1歳の誕生日を迎えます。あっという間のような気もしますが、これまでにあったいろいろな出来事を考えると、たかが3年、されど3年だなあと、しみじみ思う今日この頃です。

今年の中秋の名月は19日。中秋の名月といっても必ずしも満月になるとは限りませんが、一昨年と昨年にかけて3年連続満月になるそうです。真の満月は20時頃になるとか。こんなドンピシャな年はなかなかないようです。年に一度くらいはゆっくりと満月を楽しんでみるのもいいですね。

9月の予定

10日(月)	休館日
--------	-----



「今月のケーキ」…「マロンケーキ」300円

マロンクリームをカラメル風味のスポンジではさんで、クラッシュマロンとマロンペーストをトッピングした、毎年人気のケーキです。



今月のお気に入り…「月が出てくる絵本」

～「ながいよるのおつきさま」「ぼんぼん山の月」「つきよのキャベツくん」「おつきみつさぎ」 などなど～



アメリカ原住民には、12の月の満月に名前をつける伝統があるそうです。その伝統に敬意を表して書かれた「ながいよるのおつきさま」は、それぞれの月に美しい名前がつけられ、夜のさまざまな情景がステキな言葉でつづられています。挿絵を描いたマーク・シーゲルは、著者シンシア・ライラントの言葉にあふれる魔法を表現するために、数か月の間幾度も月夜の散歩に出かけたと言います。木炭で描かれたその絵は、澄んだ空気を感じさせつつ、柔らかで神秘的な光に包まれています。息づく夜の世界をぜひ感じてみてください。

今月の本欄…「ジョン・バーニングムの世界」

～「ねえ、どれがいい?」「いつもちこくのおとこのこージョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー」 などなど～

遊び心と優しさにあふれたバーニングムの世界です。「ねえ、どれがいい?」は、意味もなく次々と究極の選択を迫られます。気持ち悪い選択や怖い選択など「どれもいやーっ!!」と叫びたくなるものや、「どれを手つどう?」では、妖精や魔女やサンタクロースなどがでてきてワクワクするものもあります。私が一番「うえっ!」となった選択肢は、「一万円で死んだかえるをのみこむ」でした。(^^)

どの作品も、くすっと笑えたり、ほのぼのしたり、そして「えっ、そうくる?」というようなユーモアたっぷりの楽しい絵本ばかりです。



ほっとスライク

夏休みにある会社の企画で、親子の折り紙教室が KiKi で開催されました。0歳から小学生の子どもたちとその保護者の方が、指輪やコマ、バスケットなどいろいろな折り紙に挑戦されました。会社のスタッフの方も男女数名おられました。店内いっぱい集まったみなさん、普通サイズの折り紙だけでなく、大きい折り紙や小さい折り紙に一生懸命取り組んで、次々と作品が出来上がっていきました。

そんな中、一応私が折り紙指導をしていたのですが、やたら「先生、教えてください。」という声が…誰かという、何をかくそう会社のおじさま方でした。保護者の方と一緒に頑張って折られていたのですが、同僚の女性の方に、「あなたは後!!」と注意されていました。(^^)v みなさんが帰られた後も完成するまで何度も聞きながら折られている姿に、結構年配の男性方ですが思いっきり親近感がわきました。きつと、すてきなおじいちゃんになられると思います。(^^)-☆

